

# 学校法人育成学園 H30年度 自己評価表

## 1. 学校の教育目標

「確かな技術、豊かな教養を身に付けた調理師・製菓衛生師の養成を通じて社会に貢献する」という教育理念のもと、以下の人材の育成を教育目標とする。

- ・食のプロとしての技術、教養を身に付けた人材。
- ・即戦力として「食」の業界で活躍ができ、「食」を通じて社会全体に貢献できる力を備えた人材。
- ・社会に出ても常に学ぶ姿勢を忘れない人材。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学校の価値を再度洗い出し、他校との差別化を図る。
- ・カリキュラムのさらなる充実、講師陣の質の向上。
- ・働き方改革の推進。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

### ① 課題

・他校との差別化につながる学校の特徴が明確に打ち出せておらず、パンフやHPなどに学校の魅力を十分に表現できていない部分が見受けられる。

### ② 今後の改善方策

・現状のカリキュラムの内容を十分に再確認するとともに、パンフやHPなどの表現の仕方を工夫する。  
・社会情勢は常に変化し続けているため、カリキュラムの見直しを毎年行っていく必要がある。

### ③ 特記事項

## (2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

### ① 課題

・学生管理システムが更新時期を迎え、新システムを導入予定であるが、スムーズな移行ができるよう、マニュアル等の整備を進めなければならない。

### ② 今後の改善方策

・学生管理システムに関しては2019年3月に導入済であるが、旧システムとの変更点が多いこともあり、細かな問題点が上がってきている。今後これらの諸問題をスムーズに解決していかなければならない。

### ③ 特記事項

### (3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限対応した、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ・実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

#### ① 課題

・製菓スペシャリスト本科において、新たに3つのコース設定を行ったが、3つのコースの特徴がわかりづらいという意見がある。学生の選択肢を増やすのはいいことだが、それぞれの中身についても少し工夫をこらすことはできないか？

#### ② 今後の改善方策

・製菓スペシャリスト本科のコース設定について、平成31年度が実施初年度となるが、現状希望者が一つのコースに偏る傾向がある。コースの特徴を再度検討し直し、学生にとっても理解しやすいように設定し直すとともに、入学希望者にとって魅力あるものにしていく。

#### ③ 特記事項

#### (4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

#### ① 課題

・卒業生の社会的な活躍・評価を把握しきれていない。

#### ② 今後の改善方策

・同窓会活動の一環として、卒業生が交流できる場を設け、卒業生の社会的な活躍、評価を把握するよう努めており、改善されつつある。今後も継続して幅広い情報収集ができるよう、同窓会と連携を取りながら進めていく。  
・卒業生の就職先として、食品メーカー等も選択肢の一つとなりうるよう、求人への開拓に努めていく。

#### ③ 特記事項

#### (5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

#### ① 課題

・国が経済的に苦しい世帯のための新たな修学支援制度を検討中であるので、当校としてもその適用対象となるよう、申請の準備をすべきである。

#### ② 今後の改善方策

・国の修学支援新制度については概要が固まりつつある状況なので、引き続き申請に向けての準備を進める。

#### ③ 特記事項

## (6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ① 課題

・校舎の建築から10年以上が経過しており、施設・設備の一部老朽化が見られているが、教育上の必要性には十分対応できているものの、施設の修繕、最新設備の導入等にもう少し積極的に検討していくべきではないか。

### ② 今後の改善方策

・平成31年3月、外観及び内装関連の改修工事を行う。1階カフェ設備の本格化、3階学生ラウンジの新設、校舎外観のイメージアップ等、より学生にとって魅力ある設備へとリニューアル予定。

### ③ 特記事項

・防災体制の強化を図るため、避難訓練の実施を予定していたが、30年度は雨天のため中止となった。

## (7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

### ① 課題

・18歳人口の減少の中、いかに学生数の確保を図っていくか。  
・高校生に対する当校の認知度が低い。

### ② 今後の改善方策

・認知度向上の方策として、当校主催の高校生向け料理コンクールを実施したが、今後も継続して実施し、認知度向上につなげていきたい。

### ③ 特記事項

## (8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計検査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ① 課題

・今後更なる少子化が進行していく厳しい環境の中生き残りを図るためには、更なる設備投資、施設拡充が必要であり、それを実行できる財務基盤を確保しなくてはならない。

### ② 今後の改善方策

・財務基盤の安定のため、学生募集強化・運営体制のスリム化等を引き続き検討していく。

### ③ 特記事項

・平成29年度より公認会計士による監査を実施している。

## (9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

### ① 課題

・自己評価、学校関係者評価を実施し、組織の問題点改善に活かしているが、その評価基準や内容、進め方等について、定期的に見直していく必要があるのではないか。

### ② 今後の改善方策

・自己評価、学校関係者評価の実施方法については定期的に見直すこととする。又、第三者評価の導入に向けても引き続き前向きに検討する。

### ③ 特記事項

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

### ① 課題

・学生が参加しているボランティア活動が定例化しつつあり、新たなボランティア活動等への参加が促されていない。

### ② 今後の改善方策

・地域貢献に繋がるボランティアの拡充を図るとともに、ボランティア活動の重要性を伝える機会を設ける。  
・社会貢献、地域貢献に関する情報収集を強化し、機会の増加を図る。

### ③ 特記事項

## (11) 国際交流

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	③	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

### ① 課題

・留学生の在籍数が増加している中、学習サポート、生活指導、進路指導等の各種サポート体制を拡充していかなければならない。

### ② 今後の改善方策

・当校独自の留学生向け奨学金制度を平成31年度より設置。また、2週間に一度の割合で留学生サポート授業を実施しているが、平成31年度については日本語講師を2名に増員して対応する予定。

### ③ 特記事項